

## R3 年度 モコ草薙保育園 園評価

### 保護者アンケートより

・日頃、保護者から園運営に対するご理解・ご協力等、温かくご支援いただいている…と感じている。モコ保育園は『子ども一人一人に寄り添い、大切に育てる』という理念を基とした保育を行っている。一人一人の発達は個々により異なるが、その子に合った対応や声掛けを考え、やってみたい！ やってみよう！ という気持ちを大切にしている。今回のアンケートのエピソードから、家庭で垣間見ることのできる我が子の成長に園生活での影響の大きさを感じているという声も多くあり、大変嬉しく感じた。日々の`連絡ノート、`おたより、の中で、園での姿を伝える事ができる機会となっている。成長・発達の著しい 0.1. 2 歳児なので、喜び・悩み等の些細な情報共有の出来る小規模園らしいコミュニケーションも大切にしながら、子育ての力添えが出来るよう、職員全員が引き取り意識をしていく。保護者対応に関しては、勤務体制の事情からなかなか顔を合わせることが出来ず、園からの発信が難しい等の課題も残る。保護者に対し、いつでも真摯に話が出来る関係作りを今後も行っていきたい。

・安全対策に於いて、園舎前の道路は日中の交通量は少ないが、朝晩は草薙神社を經由する日本平⇄草薙の抜け道となっているため交通量がとても多い。駐車場の仕方や、園舎へ出入りする際の配慮は、保護者も気にかけていただきご協力を得られている。特に、朝の時間帯は駐車場前を小学生も通学路として利用しているため、入出庫に関する配慮事項をこまめに声掛けをしていく。

### 職員評価より

・子どもの発達段階を抑えた上で、日々の保育を行うことを今年度の目標とし、期毎のねらいや振り返りを大切にしてきた。その反省の中から発達段階について、歳児ごとに学び直す良いきっかけともなった。結果、子どもの姿の捉え方の意識が変わり、些細な気付きを保育士間で共有することが増えてきた。共有する機会が増えることで、自分だけの思いだけでなく、他者の思いも知ることで保育にプラスになることも多い。次年度も引き続き、気づきの共有(語り合い)を大切にしていきたい。

・保育の中でやりたいこと・子ども達とやってみたいことが増えるとともに、時間の使い方についてが課題となった。限られた時間の中で、記録や翌日の準備・日々の消毒等、やるべき事も多いのは事実でもあるため、見通しをもって計画的に事を進めていくこと、全て一人でこなそうとはせず、周りの協力を得られることは願う等、効率の良い方法を探していくことも仕事のうちと考えながら保育やそれ以外の仕事を行っていくことが必要になる。

### 園総合評価

・コロナ禍での生活も 3 年目となったが、保育をする上での模索は今もなお、平行線である。その中で感染者の低年齢化も報道されているため、園としては日々の保育が円滑に行われることを最優先としてきた。園内や、子ども達の使う玩具の毎日の消毒も徹底し、受け入れや引き渡しの方法なども、保護者の協力を得ながら変え、対応してきた。収束をしていくのか、先の見えない状況での判断は難しいところもあるが、その時々合った保育・保護者参加行事等も引き続き考えていきたい。

・地域の方との顔を合わせた交流は、今年度も出来なかった。民生委員さんのご協力の元、敬老の日には地域のお年寄りに、園児からのメッセージカードをお渡しし、喜んでいただく機会となった。顔を合わせる以外の方法でも、地域との関りが持てることを実感することが出来た。

・園の子ども達が、毎日笑顔で過ごし、アンケートの結果から、保護者からも子どもの成長を数多く感じていただくことが出来たと知り、保育園に対して多くの方が信頼をし、大切なお子様をお預けていただいているであろうと実感が出来た。園を運営していく上で、子ども・保護者との信頼関係は何より大切にしていきたいと職員一同思っているため、引き続き、子ども・保護者・職員間の対話を大切にしたい保育を行ってきたい。